

Rikkyo University
College of Business

Exchange Program

AY2025

COB International Business Program Office

03-3985-4241

coboutgoing@rikkyo.ac.jp

経営学部交換留学プログラム 秋出発スケジュール概要

留学説明会	7 月 & 10 月	
TOEFL/IELTS 最終受験	12 月下旬	12 月下旬～1 月上旬はテストセンターが休暇に入るので注意
学内願書提出 各種語学スコア含む	1 月中旬	スコアレポートは正式なものでなく各個人アカウントからのコピーでも可能
書類選考	1 月中旬	
書類選考結果発表	1 月中旬	
面接	1 月下旬	
結果発表	2 月上旬	
第一回 オリエンテーション	2 月上旬	留学先への申込に関するオリエンテーション
留学先へ願書提出	3 月～6 月	留学先による
プログラム参加資格確認	4 月下旬	
第二回 オリエンテーション	4 月中旬	学内手続きに関するオリエンテーション
ビザ、航空券、宿、 保険など各種手続き	各自	
出発	8 月～10 月	留学先による
帰国（1 学期留学）	12 月下旬～2 月	留学先による
帰国（2 学期留学）	4 月～7 月	留学先による

1. プログラム概要

- 本プログラムは、海外諸国の経営学部独自の協定校に 1 学期もしくは 2 学期の間、正規課程の学生として留学し、経営学系科目を中心に学ぶプログラムです(派遣先によっては経営学系科目以外の科目も履修可能)。
- 協定により授業料を相殺する制度に則ったプログラムであり、単位修得を目的とするプログラムであるため、在学留学となります。原則として休学留学は認めませんが、突然の財政状況や生活状況の変化等、事情がある場合は、国際交流事務局に相談ください。
- 協定校は、経営学の分野で世界的に知られており、専門性の高い科目を学ぶことができる総合大学の経営学部もしくはビジネススクールです。
- 協定校で修得した単位は卒業要件単位として単位認定申請をすることができます。詳細は、国際センターより発行されている”Study Abroad 派遣留学生募集要項(P.24-25)”を確認すること。

2. 留学準備について

重要

(1) プログラム参加要件科目

本プログラム参加者は、出発年度の春学期までに下記①～④すべての履修および単位修得が必須となります。

- ① Global Study Pre-departure (BT761)
- ② Financial Accounting (BT188)
- ③ 下記の 2 つのうち、どちらかのパターンで 4 単位以上を習得すること
 - “International Business A/B” (BT163, BT172)
 - マーケティング系科目より 1 科目 (BT113”Marketing Communications and Penetrating the Japanese Market”, BT161”Marketing Management in Japan”等)と戦略系科目/マネジメント系科目より 1 科目 (BT175 “Introduction Strategic Management”; BT203 “Business and Society”; BT168 “Global Strategic Management”; BT693, BT694 “Advanced Business Project”)の組み合わせたとえば、【BT161 “Marketing Management in Japan”と BT203 “Business and Society” で 4 単位】など。
- ④ 経営学部の英語開講科目 1 科目 (英語開講の経営学部専門選択科目であれば何でも可)

※注意※

- 経営学科生(とくに過去に海外プログラム参加経験のない者)は、留学前に EAP1 もしくは Overseas EAP 履修、または本学にて短期の海外プログラムに参加していることが望ましい。
- 2024 年度より BT183 ”Finance”の履修はありません。

- ・ GPA、英語スコア、志望理由、これまでに履修した英語開講科目、英語によるコミュニケーション能力をもとに総合的に判断します。

(3) 提出書類

書類は原則、すべて A4 サイズとし、PDF 形式でアップロードすること

①申込書(添付のフォーム)

- 印刷した申込書に写真を貼り付け、[オンラインフォーム](#)に提出すること。
- 留学先及び留学期間について保証人に承諾を得た上で、保証人の署名・捺印のもらうこと。
- 留学先によって、留学期間を 1 学期間もしくは 2 学期間のいずれかから選ぶことができます。ただし、2 学期間を超えて留学することはできません。
- 各種語学試験のスコアについて、ベストスコアは採用しません。

②English Language Proficiency for COB Study Abroad(添付のフォーム)

- これまで履修した英語語学科目・英語開講科目について、①科目名、②成績、③履修した年度と学期、④教員名、を記入して提出すること。

③志望動機書：A4 一枚程度（任意書式、英語）。下記の内容を含むこと。

- 派遣先で何を学びたいか、どのような専門的な知識を習得したいと考えるか
- 本プログラム応募のためにこれまでどのような準備をしてきたか
- 希望派遣先について、それらの派遣先大学/その国を選んだ理由

④各種外国語試験スコア (IELTS または TOEFL iBT)

- 学内選考においては、ウェブサイトからの出力でも応募を受け付けます。ただし留学先への応募には正式なスコアが必要となりますのでご注意ください。
- 受験日より 2 年以上経過しているものは無効です。

⑤本学成績参照システムの個人画面のコピー

- 成績証明書ではなく、成績参照システムの画面を PDF 保存すること。
- これまで履修した科目すべて及び累積 GPA を含むこと。

⑥パスポートのコピー

(4) 提出方法

提出先 URL: [オンライン申し込みフォーム](#)

- Rikkyo Spirit にログインの上、上記リンク上にて質問事項の記入および必要書類のアップロードを行ってください。
- ファイル形式は原則 PDF 形式とします。
- ファイルサイズは原則 A4 とします。

- 書類のアップロードは申込期間中にのみ可能となります。期間外にアクセスしても受け付けられないので注意してください。
- 出願期間中に Google Form にアクセスできない、書類がアップロードできない等の問題が発生した場合は、ただちに coboutgoing@rikkyo.ac.jp までメールにて問い合わせること。

5. 選考日程

2025 年秋出発		
事項	日時	場所
申込書提出	2025 年 1 月 8 日 (水) 9:00～ 1 月 10 日 (金) 17:00 の 3 日 間 Google Form 上で問題が発生 した場合はただちに coboutgoing@rikkyo.ac.jp まで問い合わせること。	オンライン申し込みフォーム
書類選考結果発表	1 月 15 日 (水)	対象者にメール送付
面接	1 月 23 日 (木)～28 日 (火)	Zoom (リンクはメール送付)
選考結果・派遣先 発表	1 月 31 日 (金)	対象者にメール送付
第 1 回オリエンテー ション	2 月 3 日 (月) 12:30～13:15	Zoom (リンクはメール送付)
最終確認	4 月末	詳細は対象者にメールで案内します。 秋学期の成績を提出に著しい悪化がみられ る等、交換留学生として推薦するにふさわ しくないと判断された場合、派遣先の変更 や取消の可能性があります。留学時に 3 年 次となる者については特に、2 年次秋学期 に履修する International Business A/B お よび ESP A/B の成績を重視します。
第 2 回オリエンテー ション	春学期 1「Global Study Pre-departure」科目内	Zoom (リンクはメール送付)

- 面接日は書類選考結果発表時に詳細を記載します。面接は翌週から開始されるため、必ず結果発表当日に結果を確認してください。試験などで指定の面接日に面接ができない場合は、速やかに国際交流事務局までメールにて申し出ること。
- 留学先によっては、最終結果発表後 1 週間以内に願書や必要書類を手配しなければならない派遣先があります。

【重要】事前研修科目と各種オリエンテーションの参加・手続きに関する注意

- 研修とオリエンテーションは留学プログラムの一部です。
- 授業・就職活動・慶弔事以外の事由による授業・オリエンテーションの欠席は認めません。
- オリエンテーションの欠席や各種手続きの不備は留学の取消につながります。

6. 英語について

- (1) 英語力の証明として、留学先大学から TOEFLiBT または IELTS のスコアの提出が要求されます。提出できない場合には、受入が拒否されることもあります。GTEC や英検、TOEFL-IP の結果を正式なスコアとして使用することはできません。
- (2) ベストスコアは採用しません。
- (3) 各種語学試験のスコアは過去 2 年以内に受験したもののみが有効となります。
- (4) 最後に語学試験を受験できる目安は、申込のおよそ 1 ヶ月前です。
- (5) 各大学で必要とされるスコアの目安については本手応募要項の「派遣先一覧」をご参考ください。
- (6) 試験の結果が個人アカウントに反映されるまでに通常 1~2 週間程度かかります。
- (7) 開催回数が著しく少ない月があり、また、すぐに満席となってしまう会場も多いので、計画的に受験しましょう。
- (8) 開催状況は下記 URL から確認できます。
TOEFLiBT: <http://ac.prometric-jp.com/toefl/jp/reserve/index.html>
IELTS: <http://www.eiken.or.jp/ielts/schedule/>

7. 留学先

- (1) 協定校の情報は[こちら](#)から閲覧可能です。
- (2) 留学先を検討する際には、固定観念にとらわれず、広い視野と柔軟性を持って、多くの学校の情報を確認すると良いでしょう。
- (3) 志望校は「派遣先一覧」をよく確認した上で記入してください。
- (4) 各校の情報は、各学校のウェブサイト参照してください。
- (5) 国際交流事務局で、各校のパンフレットや過去の留学体験者による留学報告書を閲覧できますので、参考にしてください。
- (6) アカデミックアドバイザーに相談するのも良いでしょう。

8. 費用

- (1) 在学留学の場合(原則として在学留学)、留学期間中の学費を立教大学に納入し、留学先大学の学費は免除となります。事情により休学留学を希望する場合、国際交流事務局までご相談ください。留学先によっては、語学コースは学費免除対象外となります。
- (2) その他の生活にかかる費用は自己負担となります。(交通費、家賃、食費、書籍、保険、退避命令が発行された際の緊急帰国費用など。)
- (3) 生活にかかる費用は留学先や個人の生活の仕方によって異なります。国際交流事務局にある留学報告書にも費用に関する記載がありますので、併せて参考にしてください。
- (4) 立教大学では、本プログラムで交換留学をする学生を対象に立教大学グローバル奨学金をもうけています。詳細は学生課(5号館1F)へお問い合わせください。
- (5) 留学先によっては、独自の奨学金制度を設けている学校もありますので、各学校・各国のウェブサイトを確認してください。
- (6) 政府や各機関の奨学金制度については、国際センターや各機関のウェブサイト参照してください。

<http://www.rikkyo.ac.jp/support/international/abroad/scholarships/>
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/kaigai/index.html>

9. 留学中の生活

- (1) 住居：多くの留学先には寮やアパートが併設されていますが、学生数の多い大学等で寮に入れないことがあります。また、一部、自己手配の大学があります。
- (2) 保険：立教大学指定の海外旅行保険への加入が必須となります(参考：保険料は、12 ヶ月の留学で約 15 万円)。また、一部の大学では、本学指定の保険に加えて、派遣先国や派遣先大学指定の保険への加入を求めることがあります。その場合は、本学指定の保険と派遣先国・大学の指定する保険の双方へ加入が必須となることをご了承ください。
- (3) アルバイト：学生ビザで留学するため、アルバイトは原則としてできません。一部の大学では、留学生が報酬を伴うインターンシッププログラムに参加することができる場合があります。
- (4) 途中帰国：原則として留学プログラムを途中で中止し、早期帰国することはできません。ただし、体調不良や家庭の事情に関する特別な場合は、状況に応じて速やかに対応します。ただちに留学先および立教大学の担当者へ申し出てください。

10. 留学時の履修

- (1) 留学中は、授業形態にかかわらず立教大学の授業を履修することはできません。
- (2) 本学では、単位認定について事前に認定の可否を確認することはできません。
- (3) 留学先での履修科目は、原則として、ビジネスやマネジメントの科目、派遣先の国の言語・文化・歴史等に関連する科目を履修するものとします。留学先大学の履修要項やウェブサイトを参考にしながら各自の判断で選択してください。
- (4) アカデミックアドバイザーや先生方に相談するのも良いでしょう。
- (5) 留学先によっては、願書提出時に履修科目の記入が必要な場合があります。
- (6) 留学先によっては、学期開始前にプレイスメントテストを行い、その結果をもとに英語の履修を義務付けたり、履修を制限したりする場合があります。
- (7) 留学先によっては、“pre-requisite” と呼ばれる、より高度なレベルの科目を履修するために事前に履修を完了していなければならない基礎科目が設定されている場合があります。留学前に本学でその要件を満たしていない場合、留学先で希望の科目が履修できない場合があります。
- (8) 英語圏以外の留学先では、現地の言語を学ぶことも可能な場合があります。
- (9) 出発前に留学先での科目一覧、シラバス等に目を通しておくことをお勧めします。
- (10) 世界各国に協定校がありますが、授業言語は英語です。協定校の語学要件を満たせば、第二言語で科目を履修することも可能です。

11. 単位認定

- (1) 本学が認めた留学期間中に修得した単位が本学の卒業要件単位の一部として認定されるよう申請することができます。ただし、休学留学で留学した場合は申請できません。

- (2) 認定手続きは原則、帰国後に行います。事前に認定の可否を確認することはできません。
- (3) 単位の認定を申請する際に、以下の書類が必要となります。①派遣留学単位認定願、②留学先大学・機関等が発行した成績証明書、③学業成績評価の基準を示す書類、④シラバス等、授業内容がわかる書類、⑤総授業時間数を示す書類。授業期間・授業回数・1 回あたりの時間数を示す書類) ※

※時間割やアカデミックカレンダーなど、実際の授業実施日および時間数が分かる書類が必要となります。学期中に休暇期間や祝日がある場合はそれがわかる資料も添付してください。

- (4) 基本的にシラバスの内容をもとに、立教大学の科目と同等のレベルと判断されたものについて、単位を認めることとなります。従って、必ずシラバスや履修要項を保管しておいてください。
- (5) 学部間協定で留学した場合でも、授業内容によっては全学共通科目／全学共通カリキュラムの単位として認定されることもあります。
- (6) ESL については、言語自由科目として認められる可能性があります。
- (7) 全学共通（全カリ）言語教育科目の言語 B として選択したものと同一言語を留学先で単位修得した場合は、言語自由科目の単位として認定されることがあります。この場合、本学における言語 B の必修科目のレベルを超えていることが最低限の条件です。また、言語 B として選択したものと異なる言語を留学先で単位修得した場合も、言語自由（選択）科目の単位として認定されることがあります。この場合、本学における言語 B の必修科目のレベル相当であることが最低限の条件です。なお、単位認定にあたっては、授業内容を確認する為に教科書・提出物・ノート等の提出が必要です。紛失・廃棄等しないよう注意してください。
- (8) 単位認定の上限は 60 単位となります。
- (9) 単位数については原則として授業時間数を基準とするため、派遣先大学で修得した単位数と一致するものではありません。なお、ECTS を採用している欧州の大学では、ECTS から算出します。
- (10) 単位認定の申請は、履修登録の上限には影響ありません。
- (11) 単位認定は個々のケースについて検討するため時間がかかります。帰国の時期によっては次学期の履修登録に間に合わない場合があります。この場合、単位認定の結果が自身の思い通りの履修区分で収まるとは限らないので、「認定を前提に」履修計画を組むことは難しいです。
- (12) 単位認定された場合、成績評価は「認定」と表示され、GPA の計算には影響しません。
- (13) 大学間派遣留学による単位認定では、全学共通科目へのみの単位交換となる一方、本プログラムによる単位認定では、専門科目および全学共通科目双方への単位交換が可能です。

12. 帰国後の履修

- (1) 経営学部の専門演習を履修している場合、帰国後に教務事務センター窓口にて継続希望を確認します。継続する場合は、留学直前開講学期に単位修得した担当教員の専門演習が、帰国後の学年・学期に応じて自動登録されます。専門演習の継続を希望しない場合

や担当教員を変更したい場合は、留学前に池袋キャンパス教務事務センターに相談してください。

- (2) 帰国後に新たな専門演習の履修を希望する場合は、第 1 回～3 回募集、春学期科目募集(3 月)、秋学期科目募集(8 月下旬～9 月上旬)のいずれかにて申込みを行うことができます。
- (3) 5 月末日までに、帰国届を提出して履修登録の手続きを行った場合、帰国年度の春学期目および通年科目を履修することができます。ただし、春学期 1 開講科目(春学期前半で完結する科目)は履修できません。※
- (4) 10 月末日までに、帰国届を提出して履修登録の手続きを行った場合、帰国年度の秋学期科目を履修することができます。ただし、秋学期 1 開講科目(秋学期前半で完結する科目)は履修できません。※

※抽選登録科目、その他登録科目等、履修登録期間を過ぎての履修希望を受け付けることができない科目もあるので、必ず池袋キャンパス教務事務センターにて確認をしてください。また、言語必修科目の履修については帰国届の提出期限が異なり、各学期の授業開始日前日までに帰国届を提出する必要があります。

※全学共通科目の抽選登録科目は、科目コード登録対象科目に移行した科目のみ履修することができます。

※学期の途中から履修した場合、欠席した内容は自身で補う必要があり、また出席に関しては担当教員の判断となります。シラバスの成績評価方法・基準を確認し、十分に考慮したうえで履修を決めてください。

- (5) 5 年間一貫プログラムへ進学する場合、4 年次秋学期より修士課程の科目が開始されます。そのため、4 年次春学期までに学部の卒業要件単位を修得することが前提です。4 年次秋学期に履修できる学部の科目は「卒業演習 2」と「卒業論文」のみとなります。5 年間一貫プログラム受験予定者は、交換留学前に応募要項と自身の履修状況をよく確認すること。

13. 経営学部海外スタディ・プログラム以外の方法

- (1) 立教大学派遣留学制度、認定留学制度(休学留学制度あり)
- (2) Overseas EAP
- (3) ビクトリア大学サマープログラム(経営学部正課科目” International Business Management”)
- (4) IMG Academy 留学プログラム(経営学部正課科目” Sports Facility Management”)
- (5) 海外インターンシップ(詳細は国際交流事務局まで)
- (6) ビクトリア大学学部ダブルディグリープログラム

問い合わせ先

経営学部国際交流事務局 (月)～(金) 9:00～17:00

渡邊、谷口 coboutgoing@rikkyo.ac.jp

#	派遣先大学	国・地域	キャンパス	IELTS	TOEFL iBT	1学期目開始	1学期目終了	2学期目開始	2学期目終了	その他の受験資格
1	Queensland University of Technology	Australia	Brisbane	6.5 (no band below 6.0)	79 (W:21, S:18, R:16, L:16)	2月	6月	7月	11月	オーストラリア国籍以外のみ出願可。
2	University of Victoria, Gustavson School of Business	Canada	Victoria	6.5	90	8月	12月	1月	4月	
3	HEC Montreal	Canada	Montreal	6.0	80	8月	12月	1月	4月	
4	Queen's University, Smith School of Business	Canada	Kingston	6.5 (no band below 6.0)	88 (W:20, S:20, R:20, L:20)	8月	12月	1月	4月	
5	University of Quebec at Montreal, School of Management	Canada	Montreal	6.0	80	8月	12月	1月	4月	
6	British Columbia Institute of Technology, School of Business and Media	Canada	Burnaby, BC	6.5	86	8月	12月	1月	5月	
7	Beijing Normal University, Business School	China	Beijing	6.0	80	8月	1月	2月	7月	中国籍以外のみ出願可。
8	Aarhus University, School of Business and Social Sciences	Denmark	Aarhus	6.5	83	8月	1月	1月	6月	
9	Copenhagen Business School	Denmark	Copenhagen	7.0 (no band below 6.0)	94 (no sections below 20)	8月	1月	1月	6月	
10	University of Turku, School of Economics	Finland	Turku	6.0	72	8月	12月	1月	5月	留学期に3年次以上であること。
11	Hanken School of Economics	Finland	Helsinki/Vaasa	6.5	87	8月	12月	1月	5月	
12	NEOMA Business School	France	Reims/Rouen	6.0	85	9月	12月	1月	5月	
13	EDC Paris Business School	France	Paris	6.5	80	9月	1月	1月	5月	
14	IÉSEG School of Management	France	Paris/Lille	6.0	80	8月	12月	1月	5月	
15	EDHEC Business School	France	Lille/Nice	6.5	90	9月	12月	1月	5月	
16	EBS Business School	Germany	Oestrich-Winkel	6.0	80	8月	12月	1月	5月	
17	Cologne Business School	Germany	Cologne/Mainz	6.5	83	9月	12月	1月	6月	
18	University of Tuebingen, Faculty of Economics and Social Sciences	Germany	Tuebingen	6.0	80	10月	2月	4月	7月	
19	Pforzheim University	Germany	Pforzheim	6.5	85	9月	2月	3月	7月	
20	Hong Kong Polytechnic University, Faculty of Business	Hong Kong	Hong Kong	6.0	80	8月	12月	1月	5月	各専攻の基礎科目を本学で履修完了していること。
21	University of Surabaya, Faculty of Business and Economics	Indonesia	Surabaya, East Java	6.0	80	8月	1月	2月	7月	
21	Kyung Hee University, School of Management	Korea	Seoul	6.5	82	8月	12月	2月	6月	
22	BI Norwegian School of Management	Norway	Oslo	6.0	78	8月	12月	1月	6月	
23	NHH Norwegian School of Economics	Norway	Bergen	6.0	80	8月	12月	1月	6月	
24	Singapore Management University, Lee Kong Chian School of Business	Singapore	Singapore	7.0	93	8月	12月	1月	4月	
25	University of Ljubljana, School of Economics and Business	Slovenia	Ljubljana	6.0	79	9月	2月	2月	7月	
26	Uppsala University, Department of Business Studies	Sweden	Uppsala	6.0	79	8月	1月	1月	6月	

27	Lund University, School of Economics and Management	Sweden	Lund	6.5	90	8月	1月	1月	6月	
28	Zürich University of Applied Science, School of Management and Law	Switzerland	Wädenswil	6.5	79	9月	2月	2月	6月	
29	Bern University of Applied Sciences, Business School	Switzerland	Bern	6.0	79	9月	2月	2月	7月	
30	Chang Gung University, College of Management	Taiwan R.O.C.	Taoyuan	6.0	72	8月	1月	2月	6月	
31	Radboud University, Nijmegen School of Management	The Netherlands	Nijmegen	6.0	80	8月	1月	1月	7月	
32	Rotterdam School of Management, Erasmus University	The Netherlands	Rotterdam	6.5 (no band below 6.0)	80 (R:18, W:21, L:18, S:20)	8月	12月	1月	7月	
33	University of Southampton	UK	Southampton	6.5 (no band below 6.0)	N/A	9月	1月	1月	6月	
34	University of Stirling	UK	Stirling, Scotland	6.0 (no band below 5.5)	78 (R:18, W:17, L:17, S:20)	9月	12月	1月	5月	
35	Gustavus Adolphus College	USA	St. Peter, MN	6.5	80	8月	12月	1月	5月	
36	University of Hawaii at Hilo	USA	Hilo, Island of Hawaii	6.0	70	8月	12月	1月	5月	
37	University of Missouri, St. Louis	USA	St. Louis, MO	6.0	70	8月	12月	1月	5月	
38	Queens College, CUNY	USA	Queens, NY	6.0	70	8月	12月	1月	5月	
39	California State University, San Marcos	USA	San Marcos, CA	6.0	80	8月	12月	1月	5月	
40	Ohio State University/Fisher College of Business	USA	Columbus, OH	7.0 (S: 7.0)	100	8月	12月	1月	5月	
41	Eastern Kentucky University	USA	Richmond, KY	6.0 (no band below 5.0)	71 (no band below 16)	8月	12月	1月	5月	
42	Foreign Trade University	Vietnam	Hanoi, Ho Chi Minh	6.0	70	8月	1月	1月	7月	
43	ISCAE	Morocco	Casablanca/Rabat	6.0	80	9月	1月	1月	6月	

注意:

- ①上記の情報は2024年7月時点のものです。協定校の都合により、受験資格が変わる場合があります。
- ②青くマークされている派遣先は、春出発(2月以降)が可能です。春出発を希望する人は、申込書の「春出発希望」にチェックをつけてください。
- ③2学期目に「対象外」と記載されている派遣先には、2学期の派遣枠がありません。1学期のみの留学が可能です。
- ④学期開始月はオリエンテーション開始日とします。

2025年度 経営学部 海外スタディ・プログラム 申込書

(写 真)

学生番号 学科
学年 氏名
GPA IELTS/TOEFL

留学希望大学

- ①応募要項の派遣先一覧から希望の留学先を記入し、留学期間に○をつけること。
②派遣先一覧のうち、2月以降出発(春出発)が可能な派遣先を希望していて、
春出発を希望する場合は、「春出発希望」に✓をつけること。

第一希望			
	留学期間	1学期間 2学期	☐ 春出発希望
第二希望			
	留学期間	1学期間 2学期間	☐ 春出発希望
第三希望			
	留学期間	1学期間 2学期間	☐ 春出発希望
第四希望			
	留学期間	1学期間 2学期間	☐ 春出発希望
第五希望			
	留学期間	1学期間 2学期間	☐ 春出発希望

留学先大学について特に強い希望があれば記入してください。

保証人による同意

(本枠内は、保証人の直筆によるものとします)

上記の者の経営学部間交換留学プログラムへの参加と、各希望留学先について同意します。

保証人住所
保証人電話番号
保証人署名、捺印 署名日

※本申込書で収集する個人情報は、海外スタディプログラムに関する連絡にのみ利用します※

English Language Proficiency for COB Study Abroad

Name (LAST, First)	
Student ID	
Current year of study (circle one)	1st year, 2nd year, 3rd year, 4th year, Other ()

Below, please fill in the information of the courses you have taken so far.

English Language Courses

Compulsory courses	Grade	Semester/Year	Instructor
EAP 1			
EAP 2			
Overseas EAP			
ESP			
Other (if any):			
1)			
2)			
3)			
4)			
5)			

COB Content Courses Taught in English

Compulsory/Elective courses	Grade	Semester/Year	Instructor
International Business A/B			Fowler, Nishihara
Financial Accounting			Okamoto
Finance			Takezawa
Marketing Communication & Penetrating the Japanese Market			
Marketing Management in Japan			
Modern Consumer Culture and Society			
Zemi 2nd year Spring			
Zemi 2nd year Fall			
Other (if any):			
1)			
2)			
3)			
4)			
5)			